



昭和の日から始まったゴールデンウィークも終わりました。それぞれのご家庭では、遠出をしたり、近くの公園で家族そろって楽しんだり、家の片付けをしたりと、いろいろ有意義な過ごし方ができたのではないのでしょうか。

さて、今年度が始まり1か月が経ちました。すでに、子供たちは新しい担任や友達とも打ち解け、新たな気持ちで頑張っています。学校では、これからも教育目標実現のために、学習や様々な教育活動を通し、全教職員が心をつなげて取り組んでいきたいと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。



豊かな心を育てる（5月2日実施 全校朝会の話の中から）

茶臼山にも若葉が茂る5月となりました。

今日は、ゴールデンウィークの中日で、明日からまた学校は4連休となりますが、事故の無いように過ごしてください。

ゴールデンウィークといっても、家庭でお店をやっていたり、お父さんやお母さんが仕事だったり、家族みんなで休みを取れない、どこにも出かけられないというご家庭もあります。連休でも働いてくれている人たちのおかげで、私たちは便利な生活が送れているのだということを頭に入れておく必要があります。

（1枚の紙を示して）これは、神明小学校の教育目標です。神明小の子供たちが、「豊かな心を持ち、自ら学び考え行動する子供」になってほしいという願いが込められた目標です。今日は、その中の、「豊かな心」について、お話をしたいと思います。

「豊かな心」とは、他の人に親切にしたり優しくしたりする心、生命や人権を大切にすること、自然や美しいものに感動する心などを言います。

他の人とのつながりで考えたとき、校長先生が大事だと思うのは、他の人の心の痛みがわかることです。「これを言ったら友達は傷つくだろうな」とか、「これをされたら嫌だろうな」など、自分で考えることができ、人の心に痛みを与えるようなことは言わない、しないことが、豊かな心を持つ人の大切な条件だと思います。

今、全国的にいじめの問題が大きくなっています。どの学校でも、いじめをなくそうと努力していますが、なかなかゼロになりません。特に、毎年5月～6月にいじめが増えるという傾向があります。

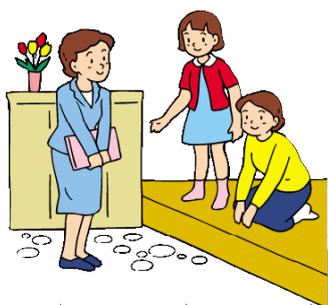
神明小でも「いじめ防止基本方針」を定めて、いじめのない学校になるように取り組んでいます。

どうしたらいじめの防止に、一番効果的なのか。私が考えるのに、人の心の痛みがわかる人を増やすことだと思います。そのためには、人の心を思いやる、想像することができる豊かな心を一人一人がもてるように学んでいくことが大切です。

人の痛みがわかる人は、反対に、人が喜ぶことは何かもわかるはずですよ。

神明小の子供たち、先生たち、一人一人が「豊かな心」を持ち、相手の身になって、お互いがお互いを思いやるようにし、たのしい学校を築いていきましょう。

家庭訪問では大変お世話になりました



4月23日（月）～5月2日（水）の7日間、家庭訪問を実施いたしました。保護者の皆様には、ご多用の中、お時間の都合をつけていただき、ご協力に感謝申し上げます。

家庭訪問で、保護者の皆様から、家庭での子育ての考え方、お子さんの特性や家庭での生活の様子、要望など、短い時間ですが担当が直接お話を伺うことができ、有意義な時間となりました。今後の指導の参考にさせていただきます。お世話になりました。

あいさつひろめ隊、頑張っています！！

5月2日（水）、今年度も「あいさつひろめ隊」がスタートしました。初日から、たくさんの児童と保護者の方に参加していただきました。

今年度は、保護者13名が登録しております。随時、隊員を募集しておりますので、無理のない範囲でかまいません。ご協力いただける方は、教頭までご連絡をお願いします。活動は、毎月末尾に2の付く日です（2日・12日・22日）。



校外学習 始まる

来週を中心に、各学年の校外学習（遠足）が始まります。お弁当の準備等、ご協力をいただきますが、宜しく願いいたします。各学年とも、事前に現地調査を行い、事故のないように進めていきたいと思っております。

校外学習のスタートとして、5月2日（火）に市内特別支援学級のなかよし遠足が行われました。当日は、天気にも恵まれ、参加したどの子供たちもここにこ顔で楽しんでいました。本校のあおぞら学級の子供たちも、他の学校の子供たちと仲良く交流できました。

行き帰りは、新桐生駅からのおりひめバスを利用しました。普段なかなか乗ることのない乗り合いバスを利用できたことも貴重な経験となりました。

